

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	街づくり区画整理協会参画事業			事業コード	0801
担当課等	所属名	都市整備部 市街地整備課	担当係名		
	課長名	都市整備部 市街地整備課	担当者名	藤原 睦	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	にぎわいのある市街地の形成	コード 7
	基本事業	既成市街地の再整備	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 8目 総務事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 不明年度～)					
事務事業の概要	土地区画整理事業を取り巻く環境は刻々と変化してきており、また地区住民の要望に対応した事業展開を図ることが求められている。土地区画整理事業を専門とする協会に参画することにより必要な情報を収集し、効率的・効果的・経済的な業務の推進を図るとともに、研修等への参加により人材育成に繋げていく。					
根拠法令等	なし。					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
戦後、土地区画整理事業に努力してきた組織が一元的に統合し、地方公共団体を含めた全国的組織として昭和45年に発足した日本土地区画整理協会に盛岡市も事業の推進を図るため参画した。平成17年5月に(社)全国土地区画整理組合連合会(昭和56年発足)と合体し多様な施行主体、多様な事業手法の活用などに対応できる時代に即した体制に発展改組した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
景気状況、土地需要や土地価格の推移等土地区画整理事業を取り巻く状況は厳しいものがあるため、土地区画整理事業における協会の果たす役割は大きい。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	街づくり区画整理協会及びその会員	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 会員数	単位	延数
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 会費の納入、研修会参加、発行誌、関連書籍購入による情報収集、組合施行の課題相談 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 平成22年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 発行誌購読数	単位	回
				B. 研修参加数	単位	回
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	土地区画整理事業を取りまく社会・経済・環境の変化に関する情報を効率的に収集し、事業推進への有効活用を図るとともに、各種研修に参加し知識・技術の向上に繋げていく。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 機関紙購読実績度＝購読数／発行数 【指標の性格：○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B. 研修実績度＝参加数／対象人数 【指標の性格：○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格：○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図：上位の基本事業にどのように貢献するか)	土地と建物が再整備される宅地の利用増進が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	浅岸・太田・都南中央第三地区の市街化率(施行地区内人口/施行地区内の計画人口)(単位：%) 整備された累計拠点施設数(単位：棟)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	会員数	延数	963	963	963	900	900	900	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	発行誌購読数	回	12	12	12	12	12	12	年度
活動 指標B	研修参加数	回	8	10	6	7	6	6	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	機関紙購読実績度＝購読数／発行数	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B	研修実績度＝参加数／対象人数	%	15	19	13	15	13	13	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	150	150	150	150	150	150	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	150	150	150	150	150	150	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④～⑧)(=A)	千円	150	150	150	150	150	150	*****
	延べ業務時間数	時間	4	4	3	4	4	4	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	16	16	12	16	16	16	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	166	166	162	166	166	166	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 土地区画整理事業に関する知識・技術の向上は事業の推進に不可欠である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 公共施行においては施行者であり、個人施行・組合施行においては指導する立場であることから、土地区画整理事業を進めるうえで市の果たす役割は大きく、効果的・効率的な事業の推進のため必要である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 一つの組織体であるため現状のままである。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 協会の目的・事業内容は定款で定められており、会員の需要に対し必要で十分なものになっている。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 協会の各種事業内容を取捨選択し、活用することにより成果が上がる余地はある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 市単独での情報収集、課題研究、専門研修等を行うことは非効率的であるうえ限界がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 会費は定款で定められている。なお、人口と事業費で算定していた会費の見直しが進められ、平成13年度34万円から調整期間を経て平成16年度以降16万円となっている。現在は、人口要件により平成18年度は20万円、平成19年度は18万8千円、平成20年度からは15万円となっている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最小限のものとなっている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 協会には市として参画しているので考えられない。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 協会には市として参画しているので考えられない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 協会の各種事業の中からより有効な研修や情報を取捨選択し、活用することにより成果の向上を図る。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 成果向上を期待できる研修の選択と研修に参加させる職員の選定がポイントである。区画整理事業に初めて携わる職員をその担当業務に直結する研修に参加させるように努める。また、事業途上の課題に対応するための能力開発が見込まれる研修で、一定程度の経験・知識を要する研修に適当な職員を参加させるように努める。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>発行誌などから情報収集するとともに区画整理組合に対し情報提供した。 組合施行の課題について協会に相談し、助言を得る。 異動職員を研修会に参加させ専門知識の習得に努めた。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												

今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>理由: 施策の目的に合致していることから継続する。 改革改善の内容: 事業の課題に対応するため本事業を活用する。ただし、研修会参加は厳選する。</p>	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携				
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止					